

# ProMED-mail情報 2021年 1月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
27日	黄熱 ウガンダ、ケニア	世界の黄熱ワクチン在庫量は、アウトブレイク発生時の需要量に対しては十分ではない。ウガンダとケニアで行われた通常量ワクチン接種群と1/5量接種群とでの比較研究では、抗体陽転率の有意な差は認められず、また重篤な有害事象の報告もなかった。
23日	新型コロナウイルス イスラエル	イスラエルでは、国民の約1/4が新型コロナウイルスワクチンの1回目の接種を終えた。予備研究では、60歳以上の年齢層において、1回目の接種後2週間での新型コロナウイルス検査陽性率が、ワクチン未接種の層と比較して、1/3減少することが分かった。
22日	髄膜炎菌 オーストラリア	オーストラリア保健省は、成人1名と小児1名が髄膜炎菌（血清型タイプB）に感染し、回復途中であると発表した。2人の関連性は認められない。侵襲性髄膜炎菌感染症の2021年初の報告。
20日	鳥インフルエンザA H9N2（ヒト） 中国	広東省雲浮市で、1歳4ヶ月男児の鳥インフルエンザA（H9N2）のヒト感染症例が報告された。家禽との接触があり、2020年12月28日に発症、29日に入院。1月4日までに家族内発症は認められていない。鳥インフルエンザヒト感染の2021年度初の報告。
18日	エボラ出血熱 アメリカ	アメリカのFDAは、Ebanga（登録商標）を、成人と小児のザイルエボラウイルス種感染者の治療として承認。Ebangaは、1995年のコンゴ民主共和国でのエボラ出血熱流行時に、回復した患者から分離されたモノクローナル抗体である。凍結乾燥状態、かつ単回接種で利用でき、FDAが承認する唯一の治療薬となった。
18日	黄熱 ナイジェリア	ナイジェリアの2つの地方では、2020年9月から黄熱の流行が続いており、少なくとも112名が死亡。患者治療、ワクチン接種、蚊帳の配布、等の緊急支援が行われているが、「病気や死は神の意志である」という伝統的な信念が根付いており、支援の妨げとなっている。
15日	黄熱 エチオピア	WHOは、エチオピアでの70万本の黄熱ワクチン接種キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症流行下でも93%の接種率だったと発表。キャンペーンは2020年11月に南部諸民族州とオロミア州で実施された。
10日	インフルエンザA (H1N2) 変異種 ブラジル	パラナ州で、インフルエンザA（H1N2）変異種の感染者の発表あり。患者は、豚の食肉加工も行っている農場出身の4歳女児で、治療により軽快。この変異種の遺伝子配列は、A（H1N2）ウイルスとほぼ同様だが、ノイラミニダーゼ遺伝子のみA（H3N2）ウイルスと類似している。
8日	ハンタウイルス アルゼンチン	パタゴニアの観光地であるバリローチェ地方で、1例のハンタウイルス感染症患者の報告あり。患者は22歳の男性で、集中治療を受けているが状態は安定している。現在感染源を調査中。
6日	レジオネラ アメリカ	オレゴン州ポートランドにあるアパートで、レジオネラの集団感染が発生。1名は死亡、3名は病院搬送。アパートの水道配管設備が原因の可能性が高く、100名以上の住民が他の施設へ避難している。
2日	ラッサ熱 ナイジェリア	ナイジェリアでの、2020年52週目のラッサ熱新規患者数は6名（前週12）。2020年度の死亡数は計244名、致死率は20.7%、年齢層は21-30歳が大部分だった。ナイジェリアでは2020年4月28日にラッサ熱発生緊急事態宣言が発出されている。